

ぽっかぽか



文京区立第一中学校
第3学年 学年通信
令和2年4月27日
第3号

今だからできること、今しかできないこと

3月2日（月）から始まった臨時休校。卒業生徒はきちんとお別れができず、新入生とはまだ会うこともできていないという未曾有の事態の中で、最高学年を迎えることになりました。学校連絡日等でみんなの顔を見ると、「青春を返してほしい」とやりきれない気持ちでいっぱいになります。ただ、学校が再開されるとなると、例年以上に忙しいスケジュールになることが予想されます。そこで、時間のある今だからできること、今しかできないことに取り組んでおきましょう。特に、卒業後の進路については自ら情報を集め、じっくり考えておいてください。



何度だって、心の「花」を咲かせよう

上の写真は、今年の4月10日に撮影した一中の八重桜です。毎年、この桜の木の下で進級写真を撮っていましたね。なぜだか分かりますか？ それは、私たちの学年のテーマが、「3年生になったら、大きな花を咲かせよう」だったからです。1年生では地面に深く深く『根っこ』を伸ばし、少しのことでは揺らぐことのない信念を育てました。2年生では、その根っこの上に太い『幹』を育てました。幹が太いほど、大きな花を咲かせることができます。だから、「中だるみの学年」なんていう言葉が似合わない学年になろうと、何事にも全力で取り組んできました。そして、やっとの思いで『花』を咲かせるチャンスがきた3年生。しかし、学年みんなで進級写真を撮ることはできませんでした。ただ、不思議なことに、暑い夏を乗り越え、紅葉の美しい秋を経て、寒い冬を我慢したその先に、再び暖かい春がやってきます。何度でも何度でも、春はやってきます。写真を撮っていると、この桜のようにまた来年の春に輝くチャンスが来るから、それまで全員で踏ん張りなさいと語り掛けられているような気持ちになりました。

この2年間、みんなの輝く姿が見たいと、私たちは精一杯みんなと過ごしてきました。花を咲かせる準備ができているみなさん、もう少しの辛抱です。その日まで、一人ひとりが家庭でできることを続けましょう。